

## 1、2学年 進路講演会

5月24日(水)5、6校時、1、2年生を対象に進路指導部の主催で「進路講話」が開かれ、講師として学校法人北九州予備校沖縄校主任 可部寿博(かべとしひろ)氏に「今だからこそ考えて欲しい事」と題してご講話を頂きました。

可部先生からは、まず、壺(己の心)に入れる岩石を将来の夢に喩え、先に小石や砂(小さな夢)を入れてしまうと大きな石や岩(大きな夢)が入らなくなることとし、さらに目標を持つことの大切さを吉田松陰とイチロー選手が残した偉大な言葉を引用しながら話されました。

次に、現在の大学入試を取り巻く状況から、進学する目的や必要になるスキルを「学力…知識、学習習慣、考える力」「人物…人間性、行動力、継続する力」「高校生活…社会性、熱意、経験」とし、その獲得のための勉強する際の椅子の座り方、ノートのとり方をはじめ具体的かつわかりやすく紹介してくださいました。

今回の進路講話の目的は『将来の「就職活動(キャリア教育)」を意識した講話を聞くことで生徒の進路意識の高揚を図ること。県外も含めた幅広い進路選択を考える機会とすること』であり、新年度の早い時期に、進路や将来の目標設定への指標となるべく実施するものです。

特に2年生については、ちょうど1年後に志望理由書の提出が待っており、さらに総合体育大会が終わるとともに、いよいよ本格的な自分の目標への挑戦が待っていることになる意味からも重要な時間だったと考えます。

まとめとして、可部先生が「(学校の)先生方は、厳しい教員採用試験を突破するために、苦しい勉強や経験を積んできた。さらにそれ以前は大学受験という関所をもくぐり抜けてきた人たちである。実は私が今日話したことは、先生方が経験してきたことを簡単に説明しただけで、本当は、最も参考になり、最も見本となる人たちは君たちのそばにいつも居る具志川高校の先生方なんです」と講話を締めくくって頂きました。

暑い中、汗をびしょりかき、本校の生徒のために御講話を頂いた可部先生と準備した進路部の先生方にお礼を申し上げます。

